

# 8月15日の靖國神社

清水 典郎 陸士61

ここ数十年、8月15日の靖國神社参拝は、私用と重なり欠礼が続いた。今年も借行合唱団21名の一員として久しぶりに参列機会に恵まれた。

## 第42回全国戦没者慰霊祭大祭

9・00国歌斉唱に始まり、寺島泰三英霊にこたえる会会長の祭文奏上の後、合唱団は拝殿前方の階段に並ぶ。

献楽は「靖國神社の歌」「ふるさと」「海ゆかば」の3曲、歌声は会場に響くとともに、英霊のお耳にも達したと思われる。

その後、参列者は順次本殿に移動、それぞれの代表者の玉串奉奠、拝礼に合わせて各自拝礼の後、退出した。

## 第31回戦没者追悼中央国民集会

10・30開会、国歌斉唱、靖國神社拝礼に続き終戦の詔書を拝聴して72年前の暑かったあの夏の全身の震えと悔しさを思い出す。

主催者代表の英霊にこたえる会寺島泰三会長、日本会議田久保忠衛会長の挨拶があり、各界代表の提言に移る。

井川一久元朝日新聞編集委員、佐藤正久参議院議員、高清水有子皇室

ジャーナリストの3氏が、それぞれ力強い提言を行った。特に佐藤議員の「陸上型イージス」提言に一番大きな拍手が沸き起こった。

ここで合唱団が登壇し、「ふるさと」「愛国行進曲」「靖國神社の歌」。

日本武道館で開催されている政府主催の全国戦没者追悼式に合わせ、正午に戦没者への黙祷を捧げる。続いて天皇陛下の御言葉を拝聴する。

声明文の朗読が行われ、参加者全員の熱い拍手で採択された。

最後に再び合唱団登壇、「海ゆかば」には参加者全員が起立して2回唱和。壇上からは感銘まっけ歌う方も見えた。

今年の8月は月初めより雨続き、些か異常気象である。15日の行事中は小雨程度で済んだのは何よりであった。

慰霊大祭、国民集会とも大勢の人数が集まり、また若い人が逐年多くなっているとのことである。

最近、中学生が終戦の日を知らないことがしばしばとりあげられる。ただ80歳台後半の我々も中学生時代、38年前の白露戦争終戦の日が答えられず、陸軍記念日：3月10日、海軍記念日：5月27日は即答できた。

終戦72年、これ程終戦の日が強調されるのは、やはり史上初めての敗戦、さらに初めて拝聴した玉音放送の故だったかもしれない。